

平成29年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕市版(運用歩掛) 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成30年4月1日以降適用)

第2編 地質調査業務
第1章 地質調査積算基準
第1節 地質調査積算基準
2-1-5

第1章 地質調査積算基準

別表第1

(1) 諸経费率標準値

対象額	100万円以下	100万円を超え3000万円以下		3000万円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	(2)の算定式により求められた率とする。ただし、変数値は下記による。 A b		下記の率とする
率又は変数値	57.2%	300.01	-0.12	38.0%

(2) 算定式

$$Z = A \times Y^b$$

ただし、Z：諸経费率(単位：%)
Y：対象額(単位：円)(直接調査費+間接調査費)
A, b：変数値

(注) 諸経费率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。

2-1-5

別表第1

(1) 諸経费率標準値

対象額	100万円以下	100万円を超え3000万円以下		3000万円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	(2)の算定式により求められた率とする。ただし、変数値は下記による。 A b		下記の率とする
率又は変数値	59.9%	285.3	-0.113	40.8%

(2) 算定式

$$Z = A \times Y^b$$

ただし、Z：諸経费率(単位：%)
Y：対象額(単位：円)(直接調査費+間接調査費)
A, b：変数値

(注) 諸経费率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。

2-1-5
平成30年 4月 1日以降適用

平成29年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕市版(運用歩掛) 改定対照表

頁	改定前	改定後(平成30年4月1日以降適用)																																																										
第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング 2-2-21	<p style="text-align: center;">第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>3. 補正係数の設定表</p> <p>1. 解析等調査業務</p> <p>表2.7.2 解析等調査業務の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="360 316 1095 639"> <thead> <tr> <th colspan="2">土質ボーリング</th> <th>補正係数(計算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.035X + 0.79$</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.020X + 0.88$</td> </tr> </tbody> </table> <p>Y: 補正係数 X: 土質ボーリング本数</p> <p>2. 試験種目数別の補正係数(総合解析とりまとめ)</p> <p>表2.7.3 試験種目数別の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="349 743 1097 786"> <thead> <tr> <th>試験種目数</th> <th>0~3種</th> <th>4~5種</th> <th>6~9種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 直接人件費の算出及び直接調査費の算出 直接人件費=設計単価 設計単価=標準の単価×補正係数</p> <p>ただし、資料整理とりまとめ等の直接調査費については次のとおり。 直接調査費=設計単価 設計単価=標準の単価×補正係数</p> <p>2-8 その他</p> <p>2-8-1 電子成果品作成費 電子成果品作成費は次の計算式による。 電子成果品作成費=直接調査費(電子成果品作成費を除く)×0.016 ただし、上限を20万円とする。</p> <p>2-8-2 施工管理費 施工管理費は次の計算式による。 施工管理費=直接調査費×0.007</p> <p style="text-align: center;">2-2-21</p>	土質ボーリング		補正係数(計算式)	既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$	資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$	試験種目数	0~3種	4~5種	6~9種	補正係数	1.00	1.20	1.30	<p style="text-align: center;">第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>3. 補正係数の設定表</p> <p>1. 解析等調査業務</p> <p>表2.7.2 解析等調査業務の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1328 316 2063 639"> <thead> <tr> <th colspan="2">土質ボーリング</th> <th>補正係数(計算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.035X + 0.79$</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>直接人件費 (直接調査費分)</td> <td>$Y=0.040X + 0.76$</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>$Y=0.020X + 0.88$</td> </tr> </tbody> </table> <p>Y: 補正係数 X: 土質ボーリング本数</p> <p>2. 試験種目数別の補正係数(総合解析とりまとめ)</p> <p>表2.7.3 試験種目数別の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1317 743 2065 786"> <thead> <tr> <th>試験種目数</th> <th>0~3種</th> <th>4~5種</th> <th>6~9種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 直接人件費の算出及び直接調査費の算出 直接人件費=設計単価 設計単価=標準の単価×補正係数</p> <p>ただし、資料整理とりまとめ等の直接調査費については次のとおり。 直接調査費=設計単価 設計単価=標準の単価×補正係数</p> <p>2-8 その他</p> <p>2-8-1 電子成果品作成費 電子成果品作成費は次の計算式による。 電子成果品作成費(千円) = $4.7x^{0.38}$ x: 直接調査費(千円)(電子成果品作成費を除く) ただし、上限を26万円とする。</p> <p>2-8-2 施工管理費 施工管理費は次の計算式による。 施工管理費=直接調査費×0.007</p> <p style="text-align: center;">2-2-21 平成30年 4月 1日以降適用</p>	土質ボーリング		補正係数(計算式)	既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$	資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$	〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$	総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$	試験種目数	0~3種	4~5種	6~9種	補正係数	1.00	1.20	1.30
土質ボーリング		補正係数(計算式)																																																										
既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$																																																										
資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$																																																										
試験種目数	0~3種	4~5種	6~9種																																																									
補正係数	1.00	1.20	1.30																																																									
土質ボーリング		補正係数(計算式)																																																										
既存資料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X + 0.79$																																																										
資料整理とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X + 0.76$																																																										
総合解析とりまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X + 0.88$																																																										
試験種目数	0~3種	4~5種	6~9種																																																									
補正係数	1.00	1.20	1.30																																																									

平成29年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕市版(運用歩掛) 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成30年4月1日以降適用)

6 機械・電気通信設備
第IX編機械設備
第8章消融雪設備
参IX-8-4

(2) ポンプ据付(材料費): 1台当り

施工歩掛コード S2932

名称	形状規格	単位	数量	摘要
水中ポンプ		台	1	機器単体費
制御盤		台	1	機器単体費
揚水管		m		
水中ケーブル	EVCT	m		
水位ケーブル	VCTF	m		
電極棒		本		
諸雑費		式		

注) 積算システムでは機械設備の諸経費体系に対応しておりません。本施工コードについては、施工単価算出のみに利用下さい。

削除

参IX-8-4

(2) ポンプ据付(製作原価): 1台当り

施工歩掛コード S2930

名称	形状規格	単位	数量	摘要
水中ポンプ		台	1	機器単体費
制御盤		台	1	機器単体費

(3) ポンプ据付(据付工事原価): 1台当り

施工歩掛コード S2931

名称	形状規格	単位	数量	摘要
揚水管		m		
水中ケーブル	EVCT	m		
水位ケーブル	VCTF	m		
電極棒		本		
諸雑費		式		

新規追加

参IX-8-4

平成30年 4月 1日以降適用